



横浜市立中和田中学校

# 学校だより

令和8年7月1日号

校長 松田 哲治

【学校教育目標】 自ら学び、自他を大切にして、社会に貢献する生徒を育てます

横浜市泉区和泉中央北二丁目5番1号 TEL 045-802-1301 FAX 045-805-4403

## 安全安心な居場所

校長 松田 哲治

今年の初夏は、日差しが強く暑い日もあるが、日本に接近・横断していくような進路をとる台風が、立て続けにやってきて、臨時休業(休校)の措置をとったり、週末の市総合体育大会の実施に影響が出たりと、少々不安定な気象状況だ。大きな水害さえなければ、真夏に水不足が起きないだけの、十分な雨量を期待しつつ、夏の長期休業と梅雨明けが待ち遠しいこの頃である。ただ、長い休みに入る前に、来週後半からの面談で、各学年とも中学校生活それぞれの時点における、自分自身の成果と課題を整理するとともに、これから先の学びと育ちについて見通しをもてるようにしてほしい。心身ともに「夏バテ」に気を付けて…。



先日、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト泉区審査会」が区役所の大会議室を会場に開催された。区内各中学校の代表生徒が、互いの考えを発表し合い、相互に学び合う場となった。本校からは、3年の水谷 心 さんが出場。ご家庭での、外国人中高生のホームステイを受け入れた体験を切り口に、日本と諸外国における考え方や風習の違いを目の当たりにし、そこから国際平和に考えを広げ、互いの「違い」は相互理解を阻む『壁』ではなく、認め合い、分かり合うための入り口・『扉』なのだとする自身の思いを堂々と伝えることができていた。



私は、違いがあることは悪いことではなく、むしろ違いがあるからこそ新しい発見があり、自分の世界を広げることができるのだと思います。

本当の平和とは違いを認め合いながら、一緒に生きていくことだと私は考えます。…(中略)  
…一人一人の小さな交流や思いやりが積み重なることで、世界の平和につながっていくと私は信じています。



日常生活、そして社会生活の中での「小さな気づき」。時には、それらを自分の言葉でまとめて発信し、友人たちと意見交流してみる。それが自身の成長や、国際平和の構築に資することにもなる。実は毎日の学校生活そのものが、多様な生徒同士が関わり合いながら学んでいく、一人一人にとって大切な成長の場なのである。だからこそ、教員はこれからも一人一人の学びを確かなものにする、よい「伴走者」でありたい。

### ● 今夏の本校閉庁期間について

令和8年8月7日(金)～8月16日(日)

※ この期間は平日、土・日、祝日も、学校に日直の職員はいません。

### ● 上記期間中の緊急連絡先

横浜市教育委員会西部学校教育事務所 電話 045-336-3743

※ 重大な事件・事故等が発生し、警察署や消防署等の他に本校にも連絡しなければならない場合の連絡先です。ご理解願います。